平成 29 年度

北海道大学大学院文学研究科
修士課程

学 生 募 集 要 項

平成 28 年 5 月

平成 29 年度北海道大学大学院文学研究科 修士課程学生募集要項

北海道大学大学院文学研究科には、思想文化学、歴史地域文化学、言語文学、人間システム科学の4専攻があり、それぞれ下記のような専修から構成されている。募集は、専攻を単位として、志望する専修ごとに試験が実施される。

専 攻	専 修
思想文化学専攻	哲学倫理学 宗教学インド哲学 芸術学
歴史地域文化学専攻	日本史学 東洋史学 西洋史学 歴史文化論 北方文化論 スラブ社会文化論
言語文学専攻	西洋文学 言語科学 日本語科学 日本文化論 中国文化論 映像・表現文化論
人間システム科学専攻	心理システム科学 行動システム科学 社会システム科学 地域システム科学

なお、本研究科の修士課程は、大学院設置基準にいう博士前期2年の課程に相当する。

目 次

教育研究上の目的及びアドミッションポリシー	1
《一般入試》	3
《外国人留学生特別入試》	9
《社会人特別入試》	15
各入試共通	19
・各専修における専門分野	
・出願上の注意	
・出願書類の請求	
・過去の試験問題	
・入学手続	
・長期履修制度について	
・個人情報の取り扱いについて	
・入学試験に関する問い合わせ先	
・入学試験成績等の開示について	

別 記	23
-----	----

教育研究上の目的及びアドミッションポリシー

1. 本研究科の教育研究上の目的

本研究科は、人文科学の諸領域において高度の専門的な教育研究を行うことにより、「ことば」に対する感受性及び論理的な思考力、総合的な判断力等を有する人材の育成を図るとともに、国際的に卓越した創造的な研究者を養成し、及びその資質の向上を図ることを目的とする。

(1) 思想文化学専攻

思想文化学専攻は、哲学倫理学、宗教学インド哲学、芸術学の3専修からなる。哲学倫理学専修には西洋哲学、倫理学、論理学、応用倫理の分野が、宗教学インド哲学専修にはキリスト教学、インド哲学、仏教学、宗教社会学が、また芸術学専修には芸術学、美学、美術史が含まれる。

経済と政治のグローバル化が進展するなかで、価値観の対立と衝突も生まれている現代社会にこそ、人間のあり方について根源的な問を発し続けてきたこれらの分野に関する深い学識を持つ人材が必要とされる。

本専攻の目的は、このような視点から、上記の領域における多様な教育研究を通して専門的学識と幅広い教養を合わせ持つ学生を育成し、中等・高等教育機関、博物館・資料館、国際交流機関やIT、マスメディア等、官公庁や企業のさまざまな分野で活躍できる人材を社会に送り出すとともに、創造性豊かな研究者の育成を目指している。また海外の研究者を招いて講演会、研究会等を積極的に行い、学生に海外の研究者と接する機会を提供するとともに、学生の海外派遣を含む研究教育の国際化に取り組み、国際的な視点をも身につけた人材の養成を目指している。

(2) 歴史地域文化学専攻

歴史地域文化学専攻は、日本史学、東洋史学、西洋史学、歴史文化論、北方文化論、スラブ社会文化論の6専修からなる。

本専攻では、主に歴史学と広義の地域研究を対象とした教育と研究を行っている。「歴史」も過去における異文化にほかならず、異文化に分け入るためには、言語や時空の壁を越えて、他者と共感する真摯な姿勢と、本質を見抜き相対化する批判精神が必要である。文献資料や先行研究から得られる知識だけでなく、ときにはみずからフィールドへ出向いて異文化を体感する行動力も求められる。そのような自己と他者との対話をとおして、文化の多様性と共通性を学び、過去と現在、中心と周縁を有機的に結び付けて世界の総体を捉え直すことのできる、バランスのとれた人材の育成を目指している。

本専攻の目的は、①古文・漢籍を含む文献読解の方法、②ヨーロッパ、アジアおよび北方地域を含む多様な言語の修得、③現地調査を含むデータ収集とその処理・分析方法、④物質・精神にまたがる異文化へのアプローチ、⑤地域や民族がかかえる現代的課題への視野、等について学際的かつ総合的な教育研究を行い、それにより、諸分野の研究者の養成はもとより、中等・高等教育機関、博物館・資料館、国際交流機関やマスメディア等、官公庁や企業のさまざまな分野で活躍できる人材を育成することである。

(3) 言語文学専攻

言語文学専攻は、西洋文学、言語科学、日本語科学、日本文化論、中国文化論、映像・表現文化論の6専修からなり、主として言語、文学、思想、文化などを対象とする教育研究を行っている。

具体的には、①言語学、言語科学、言語情報学など、言語理論や言語の情報処理に関する教育研究、②日本語科学、英語学、ドイツ語学・ゲルマン語学、フランス語学・ロマンス語学、ロシア語学、中国語学など、個別の言語に関する教育研究、③国語国文学、英米文学、ドイツ文学、フランス文学、ロシア文学、西洋古典学、中国文学、中国思想など、多様な言語で記された文学・思想に関する教育研究、④映像・図像学、批評理論、文化批評など、視覚メディア文化や言語表現文化に関する教育研究を中心とするが、それらの諸分野を複合的総合的に横断する領域の教育研究も視野に入れている。

本専攻の目的は、以上の領域に対する多様な教育研究を通して、それぞれの分野における優秀な研究者の養成はもちろんのこと、中等・高等教育機関、博物館・資料館、国際交流機関やIT、マスメディア等、官公庁や企業のさまざまな分野で活躍できる人材を育成することである。

(4) 人間システム科学専攻

人間システム科学専攻は心理システム科学専修(認知心理学、認知科学、実験心理学)、行動システム科学専修(社会心理学、文化心理学、環境心理学)、社会システム科学専修(福祉社会学、教育社会学、国際社会学)、地域システム科学専修(地域社会学、地理学、保全生態学)からなり、実験、コンピュータ・シミュレーション、社会調査、聞き取り調査、フィールドワークなど多様な方法論を用い、人間と社会の理解に向けた科学的・実証的なアプローチを行っている。

本専攻の目的は、まず、学生がそれぞれのディシプリンを修得した上で、専攻に共通の授業を通して微視的および巨視的な観点を獲得すること、また国際学術誌への投稿、国際学会での発表、国内外の研究交流等を通して、大学や様々な研究機関において国際的水準に立って研究できる研究者を育成することである。さらに本専攻は、官公庁、企業等に就職し、教育、医療、IT、マスメディア等の幅広い領域で活躍できる高度専門家の養成を目指している。

2. アドミッションポリシー

北海道大学大学院文学研究科は、グローバル化・情報化の時代を迎え、従来の価値観に動揺を来しつつある現代にあつて、そこに生きる人間と人間が創り出す社会や文化の本質を研究し、教育することを基本理念としている。

文学研究科は、この基本理念に基づいて、思想文化学、歴史地域文化学、言語文学、人間システム科学の4専門分野に分かれて研究教育を行う。各分野における専門的知識と研究方法を身に付け、社会のさまざまな領域において活躍できる人材を養成することが本研究科の教育研究目標である。

従って、本研究科は国際社会や地域社会のニーズに応えながら、思想・文化・歴史・言語・文学・人間科学の諸領域において、人間社会への知的探求を誠実に進める大学院生を求めている。

本研究科の修士課程・博士後期課程修了後は、大学院の学修で習得した専門的知識、判断力及び研究倫理を土台として、市民的公德心を持った社会人として、現代社会に貢献して欲しいと考えている。

入学試験においては、専門分野の基礎的知識、論理的な思考力、語学力および豊かな表現力の有無が問われる。具体的には、卒業論文・修士論文(ないしそれに代わるもの)の評価、外国語試験、専門学力試験、口述試験等により実施される。

《一般入試》

本研究科は、修士課程の学生募集を下記の要領に従い、《一般入試》を前期(9月)と後期(2月)とに分けて2度行う。入学志願者は、前期と後期のいずれか、又は両方を受験することができる。

I 出願

1. 専攻及び募集人員

思想文化学専攻	(前・後期)	14名	} 合計 90名
歴史地域文化学専攻	(前・後期)	28名	
言語文学専攻	(前・後期)	29名	
人間システム科学専攻	(前・後期)	19名	

2. 出願資格

- (1) 大学を卒業した者又は平成29年3月までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は平成29年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は平成29年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は平成29年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該大学の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの当該課程を修了した者又は平成29年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者又は平成29年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号。「3. 出願資格審査」参照)
 - ※旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者又は卒業見込みの者など
- (8) 下記に掲げる者のうち、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
 - ※出願は後期試験のみとする(別記, 23頁参照)。
 - ①平成29年3月までに、大学における在学期間が3年以上となる者
 - ②外国において学校教育における15年の課程を修了した者又は平成29年3月までに修了見込みの者
 - ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、その外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は平成29年3月までに修了見込みの者
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成7年4月1日以前に出生した者(別記, 23頁参照)
 - ※短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生や外国大学日本分校等修了者など大学卒業資格を有していない者が対象

3. 出願資格審査

「2.出願資格」の(7)により出願する者は、別に定めがあるので、下記の期日までに本研究科に申し出ること。

【前期試験】平成28年6月24日(金)まで

【後期試験】平成28年11月25日(金)まで

「2.出願資格」の(8), (9)により出願する者は、別記(23頁)により必要書類を提出すること。

「大学教育修了までの学校教育の課程が15年である国において大学教育を修了した者」は、出願資格審査が必要となるので、事前に本研究科に申し出て指示を受けること。提出期限(23頁参照)に間に合うよう余裕を持って申し出ること。

一般入試

4. 出願書類

出願書類等	備 考
☐ 入学願書 ☐ 受験票・写真票 ☐ 住所シール (本要項に綴じ込みの用紙)	入学願書及び受験票・写真票に、応募する専攻名、志望する専修名、選択受験する共通外国語科目名を記入すること(7. (1)②共通外国語試験の項を必ず参照)。
☐ 成績証明書	出身大学(学部)等長の発行するもの。
☐ 卒業(見込)証明書又は学位授与証明書	出身大学(学部)等長の発行する卒業(見込)証明書又は独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書(授与見込みの場合は、短期大学長又は高等専門学校長が発行する学位授与申請(予定)証明書)。本学文学部出身者は提出不要。
☐ 受験票送付用封筒 (本要項に綴じ込みの封筒)	本研究科所定の封筒に372円分の切手を貼付し、住所、氏名、郵便番号を記載のこと。
☐ 検定料 30,000円 (本要項に綴じ込みの払込書) ※既納の検定料は、以下の場合を除き返還できない。 ①出願しなかった場合 ②誤って二重に払い込んだ場合 【返還方法の問い合わせ先】 大学院文学研究科・文学部 教務担当 (011)706-3005, 3004	①本学所定の払込書の※欄に、志願者本人の住所・氏名(漢字、フリガナ)、電話番号を黒のボールペンで正確に記入して、必ず銀行(ゆうちょ銀行を含む。以下同じ。)の窓口で振り込むこと。 ATM(現金自動預払機)は使用不可。 ②「振込金(兼手数料)受領書」及び「検定料受付証明書」を銀行の窓口から受け取る際には、必ず「受付局日附印」を確認すること。「受付局日附印」が押印されていないと願書は受理できない。 ③「受付局日附印」が押印された「検定料受付証明書」を願書の所定の欄に貼り付けて提出すること。 ④「振込金(兼手数料)受領書」及び「検定料受付証明書」は無くさないよう注意すること。
☐ 研究計画書	A4判を使用し、以下①、②を合わせて3,000～4,000字で述べたもの。 ①本研究科を志望する理由 ②入学後の研究計画及び修士修了後の抱負
☐ 卒業論文等	卒業論文又はそれに代わる研究論文がある場合は、その写しを提出すること。 ①卒業論文(写)等には、必ず氏名を記入すること。 ②大学院において修士論文を作成した者は、卒業論文(写)に代えて修士論文(写)を提出することができる。

5. 出願期間及び提出先

(1) 出願期間

【前期試験】平成28年8月1日(月)から8月5日(金)まで

【後期試験】平成29年1月5日(木)から1月11日(水)まで

持参の場合:受付時間は午前9時から午後4時30分まで。

郵送の場合:上記期間内に必着のこと。

(2) 提出先

北海道大学大学院文学研究科・文学部教務担当(〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目)

出願書類を郵送する場合には、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きし、書留郵便とすること。

II 入学試験

6. 入学試験期日及び場所

(1) 試験期日

【前期試験】 平成28年9月3日(土)	専門試験 共通外国語試験 口述試験その他	午前9時00分から午前11時00分まで 午前11時30分から午後12時30分まで (7. 選抜方法(2)参照)
【後期試験】 平成29年2月4日(土)	専門試験 共通外国語試験 口述試験その他	午前9時00分から午前11時00分まで 午前11時30分から午後12時30分まで (7. 選抜方法(2)参照)

(2) 場 所 (平成28年9月, 平成29年2月)

北海道大学大学院文学研究科(札幌市北区北10条西7丁目)

(平成29年2月のみ)

ステーションコンファレンス東京(東京都千代田区丸の内1丁目7-12 サピアタワー)

(試験場については、志願者の希望を参考とした上で、本研究科が指定する。)

7. 選抜方法

(1) 専門試験, 共通外国語試験, 口述試験その他の結果並びに出願書類を総合して合格者を決定する。

① 専門試験 (配点:150)

② 共通外国語試験 (配点:100)

英語, ドイツ語, フランス語, ロシア語, 中国語の中から1つを選択し, 入学願書及び受験票・写真票に記入すること。ただし, 専修によっては, 専門試験・口述試験その他の外国語文献読解等に用いられる外国語と**同一の言語を選択できない場合がある**ので十分に注意すること。

③ 口述試験その他 (配点:150)

一般入試

(2) 専門試験と口述試験その他の出題形式・選択方法

思想文化学専攻

専修	専門試験		口述試験その他
	試験科目	出題範囲	
哲学倫理学	哲学・倫理学	哲学, 倫理学 論述形式問題: 哲学, 倫理学から各々1問ずつ計2問が出題される。このうちから1問を選択する。 事項説明問題: 10問から5問を選択する。 外国語文献読解: 英語, ドイツ語, フランス語から, 研究に必要な外国語を1つ選択する。	口述試験 13:30～
宗教学インド哲学	宗教学インド哲学	宗教学, インド哲学及び仏教学 論述形式問題: 宗教学, インド哲学, 仏教学から各々1問ずつ計3問が出題される。このうちから1問を選択する。 事項説明問題: 12問から4問を選択する。	口述試験 13:30～
芸術学	芸術学	芸術理論, 芸術史 論述形式問題: 芸術理論, 芸術史から1問ずつ計2問が出題される。このうちから1問を選択する。 事項説明問題: 12問から6問を選択する。 外国語文献読解(英語)	口述試験 13:30～

歴史地域文化学専攻

専修	専門試験		口述試験その他
	試験科目	出題範囲	
日本史学	日本史学	日本史学	口述試験 13:30～
東洋史学	東洋史学	東洋史学	口述試験 13:30～
西洋史学	西洋史学	西洋史学	外国語 13:30～14:45 口述試験 15:15～ 外国語は英語, ドイツ語, フランス語のうちから研究に必要な言語を1つ選択する。辞書持込み可(電子辞書は不可)。共通外国語試験と同じ外国語を選択してもよい。
歴史文化論	歴史文化学	文化人類学, 思想史, 地域文化研究 →問題は, 問A, 問Bからなる。問Aは, 全分野から選択可能である。問Bは, 入学後に専攻を希望する分野から選択する。	外国語文献読解(英語) 13:30～14:45 口述試験 15:15～
北方文化論	北方文化論	考古学, 文化人類学, 民族言語学, 博物館学 →問題は, 問1, 問2からなる。問1は, 入学後に専攻を希望する分野から選択する。問2は, 全分野から選択可能である。	口述試験 13:30～
スラブ社会文化論	スラブ地域学	スラブ・ユーラシア社会論, スラブ・ユーラシア文化論 論述形式で, 複数の問題から2問を選択する。	外国語 13:30～14:45 口述試験 15:15～ 外国語は英語2題, ロシア語2題のうちから任意の2題を選択し, 日本語訳を行う。辞書持込み可(電子辞書は不可)。共通外国語試験と同じ外国語を選択してもよい。

言語文学専攻

専修	専門試験		口述試験その他
	試験科目	出題範囲	
西洋文学	西洋文学	英米・英語圏文学, ドイツ文学, フランス文学, ロシア文学, 西洋古典学 →上の中から志望する分野に応じて1つを選択する。	口述試験 13:30～
言語科学	言語科学	英語学, ドイツ語学・ゲルマン語学, フランス語学・ロマンス語学, ロシア語学, 言語学, 言語情報学, 国語学 →上の中から志望する分野に応じて1つを選択する。	口述試験 13:30～ 2専修合同で実施する。
日本語科学	日本語科学	日本語科学(日本語学や現代日本語の言語学的研究を主とし, 日本語と他言語の対照研究, 言語文化論・翻訳論も含む。)	
日本文化論	日本文化論	国語・国文学 【前期試験】 国語史・国文学史, 古典(漢文を含む。)読解 【後期試験】 論述問題	口述試験 13:30～
中国文化論	中国文化論	中国思想(漢文・中国語文・日本漢学を含む。), 中国文学及び中国語学(中国語文献読解等を含む。) →「中国思想」, 「中国文学及び中国語学」のうちから1つを選択する。なお, 共通外国語試験は中国語以外を選択すること。	小論文 13:30～14:45 口述試験 15:15～
映像・表現文化論	映像・表現文化論	映像・表象文化, 日本近現代文学・思想 →上の中から, 主に志望する分野に応じて選択する。	口述試験 13:30～

人間システム科学専攻

専修	専門試験		口述試験その他
	試験科目	出題範囲	
心理システム科学	心理学	心理学	英語文献読解等 13:30～14:45 口述試験 15:15～
行動システム科学	行動科学	社会心理学 行動計量学	英語文献読解等 13:30～14:45 口述試験 15:15～
社会システム科学	社会学	社会学	口述試験 13:30～
地域システム科学	地域科学	人文地理学 社会生態学 地域社会学 →「人文地理学」, 「社会生態学」, 「地域社会学」の問題のうちから, 一定数を選択する。	口述試験 13:30～

8. 合格者発表

【前期試験】平成28年9月16日(金) 午後4時

【後期試験】平成29年2月20日(月) 午後4時

いずれも文学研究科掲示板に掲示するとともに, 受験者宛, 合否を郵送により通知する。電話による問い合わせには一切応じない。

なお, 通知の到着は, 4～5日後になることがある。

《外国人留学生特別入試》

本研究科は、修士課程の学生募集を下記の要領に従い、《外国人留学生特別入試》を前期(9月)と後期(2月)とに分けて2度行う。入学志願者は、前期と後期のいずれか、又は両方を受験することができる。

I 出願

1. 専攻及び募集人員

思想文化学専攻	(前・後期) 若干名
歴史地域文化学専攻	(前・後期) 若干名
言語文学専攻	(前・後期) 若干名
人間システム科学専攻	(前・後期) 若干名

2. 出願資格

下記による大学卒業等の資格を得た者で、国籍が日本以外にあり、かつ日本以外の高等学校等を卒業した者。

- (1) 大学を卒業した者又は平成29年3月までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は平成29年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は平成29年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は平成29年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該大学の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は平成29年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者又は平成29年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号。「3. 出願資格審査」参照)
 - ※旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者又は卒業見込みの者など
- (8) 下記に掲げる者のうち、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
 - ※出願は後期試験のみとする(別記、23頁参照)。
 - ①平成29年3月までに、大学における在学期間が3年以上となる者
 - ②外国において学校教育における15年の課程を修了した者又は平成29年3月までに修了見込みの者
 - ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、その外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は平成29年3月までに修了見込みの者
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成7年4月1日以前に出生した者(別記、23頁参照)
 - ※短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者や外国大学日本分校等修了者など大学卒業資格を有していない者が対象

3. 出願資格審査

「2. 出願資格」の(7)により出願する者は、別に定めがあるので、下記の期日までに本研究科に申し出ること。

【前期試験】平成28年6月24日(金)まで

【後期試験】平成28年11月25日(金)まで

「2. 出願資格」の(8)、(9)により出願する者は、別記(23頁)により必要書類を提出すること。

「大学教育修了までの学校教育の課程が15年である国において大学教育を修了した者」は、出願資格審査が必要となるので、事前に本研究科に申し出て指示を受けること。提出期限(23頁参照)に間に合うよう余裕を持って申し出ること。

外国人留学生特別入試

4. 出願書類

出願書類等	備 考
☐ 入学願書 ☐ 受験票・写真票 ☐ 住所シール (本要項に綴じ込みの用紙)	入学願書及び受験票・写真票に、応募する専攻名、志望する専修名を記入すること。
☐ 成績証明書	出身大学(学部)等長の発行するもの。
☐ 卒業(見込)証明書又は学位授与証明書	出身大学(学部)等長の発行する卒業(見込)証明書又は独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書(授与見込みの場合は、短期大学長又は高等専門学校長が発行する学位授与申請(予定)証明書)。本学文学部出身者は提出不要。
☐ 推薦書	出身大学の指導教員が作成したもの。 本学文学部出身者(研究生を含む。)及び国費外国人留学生は提出不要。
☐ 外国籍であることを証明する書類	パスポート(在留資格の確認できる頁)の写し又は在留カードの写し等。
☐ 修学に必要な経済能力を証明する書類	国費外国人留学生は提出不要。
☐ 国費外国人留学生証明書	国費外国人留学生であることの証明(該当者のみ提出)。
☐ 受験票送付用封筒 (本要項に綴じ込みの封筒)	本研究科所定の封筒に372円分の切手を貼付し、住所、氏名、郵便番号を記載のこと。
☐ 検定料 30,000円 (本要項に綴じ込みの払込書) ※既納の検定料は、以下の場合を除き返還できない。 ①出願しなかった場合 ②誤って二重に払い込んだ場合 【返還方法の問い合わせ先】 大学院文学研究科・文学部 教務担当 (011)706-3005, 3004	①本学所定の払込書の※欄に、志願者本人の住所・氏名(漢字、フリガナ)、電話番号を黒のボールペンで正確に記入して、必ず銀行(ゆうちょ銀行を含む。以下同じ。)の窓口で振り込むこと。 ATM(現金自動預払機)は使用不可。 ②「振込金(兼手数料)受領書」及び「検定料受付証明書」を銀行の窓口から受け取る際には、必ず「受付局日附印」を確認すること。「受付局日附印」が押印されていないと願書は受理できない。 ③「受付局日附印」が押印された「検定料受付証明書」を願書の所定の欄に貼り付けて提出すること。 ④「振込金(兼手数料)受領書」及び「検定料受付証明書」は無くさないよう注意すること。 なお、国費外国人留学生からは徴収しない。
☐ 研究計画書	A4判を使用し、以下①、②を合わせて3,000～4,000字で述べたもの。 ①本研究科を志望する理由 ②入学後の研究計画及び修士修了後の抱負
☐ 卒業論文等	卒業論文又はそれに代わる研究論文がある場合は、その写しを提出すること。 ①卒業論文(写)等には、必ず氏名を記入すること。 ②大学院において修士論文を作成した者は、卒業論文(写)に代えて修士論文(写)を提出することができる。

※上記以外に、次の書類を参考として提出することができる。

- ①出身大学の指導教員等又は日本語教育機関等の長が作成した日本語能力を証明する証明書
- ②財団法人日本国際教育協会「日本語能力試験」等の試験結果の写し

5. 出願期間及び提出先

(1) 出願期間

【前期試験】平成28年8月1日(月)から8月5日(金)まで

【後期試験】平成29年1月5日(木)から1月11日(水)まで

持参の場合:受付時間は午前9時から午後4時30分まで。

郵送の場合:上記期間内に必着のこと。

(2) 提出先

北海道大学大学院文学研究科・文学部教務担当(〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目)

出願書類を郵送する場合には、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きし、書留郵便とすること。

Ⅱ 入学試験

6. 入学試験期日及び場所

(1) 試験期日

【前期試験】 平成28年9月3日(土)	専門試験 口述試験その他	午前9時00分から午前11時00分まで (7. 選抜方法(2)参照)
【後期試験】 平成29年2月4日(土)	専門試験 口述試験その他	午前9時00分から午前11時00分まで (7. 選抜方法(2)参照)

(2) 場 所 (平成28年9月, 平成29年2月)

北海道大学大学院文学研究科(札幌市北区北10条西7丁目)

(平成29年2月のみ)

ステーションコンファレンス東京(東京都千代田区丸の内1丁目7-12 サピアタワー)

(試験場については、志願者の希望を参考とした上で、本研究科が指定する。)

7. 選抜方法

(1) 専門試験, 口述試験その他の結果並びに出願書類を総合して合格者を決定する。

① 専門試験 (配点:150)

② 口述試験その他 (配点:150)

(2) 専門試験と口述試験その他の出題形式・選択方法

思想文化学専攻

専 修	専 門 試 験		口述試験その他
	試験科目	出 題 範 囲	
哲学倫理学	哲学・倫理学	哲学, 倫理学 論述形式問題: 哲学, 倫理学から各々1問ずつ計2問が出題される。このうちから1問を選択する。 事項説明問題: 10問から5問を選択する。 外国語文献読解: 英語, ドイツ語, フランス語から, 研究に必要な外国語を1つ選択する。	口述試験 13:30~
宗教学インド哲学	宗教学インド哲学	宗教学, インド哲学及び仏教学 論述形式問題: 宗教学, インド哲学, 仏教学から各々1問ずつ計3問が出題される。このうちから1問を選択する。 事項説明問題: 12問から4問を選択する。	口述試験 13:30~
芸術学	芸術学	芸術理論, 芸術史 論述形式問題: 芸術理論, 芸術史から1問ずつ計2問が出題される。このうちから1問を選択する。 事項説明問題: 12問から6問を選択する。 外国語文献読解	口述試験 13:30~

歴史地域文化学専攻

専 修	専 門 試 験		口述試験その他
	試験科目	出 題 範 囲	
日本史学	日本史学	日本史学	口述試験 13:30~
東洋史学	東洋史学	東洋史学	口述試験 13:30~
西洋史学	西洋史学	西洋史学	外国語 13:30~14:45 口述試験 15:15~ 外国語は英語, ドイツ語, フランス語のうちから研究に必要な言語を1つ選択する。辞書持込み可(電子辞書は不可)。
歴史文化論	歴史文化学	文化人類学, 思想史, 地域文化研究 →問題は, 問A, 問Bからなる。問Aは, 全分野から選択可能である。問Bは, 入学後に専攻を希望する分野から選択する。	外国語文献読解(英語) 13:30~14:45 口述試験 15:15~
北方文化論	北方文化論	考古学, 文化人類学, 民族言語学, 博物館学 →問題は, 問1, 問2からなる。問1は, 入学後に専攻を希望する分野から選択する。問2は, 全分野から選択可能である。	口述試験 13:30~
スラブ社会文化論	スラブ地域学	スラブ・ユーラシア社会論, スラブ・ユーラシア文化論 論述形式で, 複数の問題から2問を選択する。 論述は日本語, 英語, ロシア語のいずれかで行うこと。	外国語・日本語 13:30~14:45 口述試験 15:15~ 外国語は英語, ロシア語2題のいずれかを選択し, 解答する。英語は日本語訳またはロシア語訳, ロシア語は日本語訳または英語訳を行う。 日本語は与えられたテーマで作文を行う。 辞書持込み可(電子辞書は不可)。 口述試験は基本的に日本語で行う。

言語文学専攻

専 修	専 門 試 験		口述試験その他
	試験科目	出題範囲	
西洋文学	西洋文学	英米・英語圏文学, ドイツ文学, フランス文学, ロシア文学, 西洋古典学 →上の中から志望する分野に応じて1つを選択する。	口述試験 13:30～
言語科学	言語科学	英語学, ドイツ語学・ゲルマン語学, フランス語学・ロマンス語学, ロシア語学, 言語学, 言語情報学, 国語学 →上の中から志望する分野に応じて1つを選択する。	口述試験 13:30～ 2専修合同で実施する。
日本語科学	日本語科学	日本語科学(日本語学や現代日本語の言語学的研究を主とし, 日本語と他言語の対照研究, 言語文化論・翻訳論も含む。)	
日本文化論	日本文化論	国語・国文学 【前期試験】 国語史・国文学史, 古典(漢文を含む。)読解 【後期試験】 論述問題	口述試験 13:30～
中国文化論	中国文化論	中国思想(漢文・中国語文・日本漢学を含む。), 中国文学及び中国語学(中国語文献読解等を含む。) →「中国思想」, 「中国文学及び中国語学」のうちから1つを選択する。	小論文 13:30～14:45 口述試験 15:15～
映像・表現文化論	映像・表現文化論	映像・表象文化, 日本近現代文学・思想 →上の中から, 主に志望する分野に応じて選択する。	口述試験 13:30～

人間システム科学専攻

専 修	専 門 試 験		口述試験その他
	試験科目	出題範囲	
心理システム科学	心理学	心理学	英語文献読解等 13:30～14:45 口述試験 15:15～
行動システム科学	行動科学	社会心理学 行動計量学	英語文献読解等 13:30～14:45 口述試験 15:15～
社会システム科学	社会学	社会学	口述試験 13:30～
地域システム科学	地域科学	人文地理学 社会生態学 地域社会学 →「人文地理学」, 「社会生態学」, 「地域社会学」の問題のうちから, 一定数を選択する。	口述試験 13:30～

8. 合格者発表

【前期試験】平成28年9月16日(金) 午後4時

【後期試験】平成29年2月20日(月) 午後4時

いずれも文学研究科掲示板に掲示するとともに, 受験者宛, 可否を郵送により通知する。電話による問い合わせには一切応じない。

なお, 通知の到着は, 4～5日後になることがある。

《社会人特別入試》

本研究科は、修士課程の学生募集を下記の要領に従い、《社会人特別入試》を後期(2月)のみ実施する。

I 出 願

1. 専攻及び募集人員

思想文化学専攻	(後期) 若干名
歴史地域文化学専攻	(後期) 若干名
言語文学専攻	(後期) 若干名
人間システム科学専攻	(後期) 若干名

2. 出願資格

2-1 下記による大学卒業等の資格を得、その後通算2年以上の社会経験(研究生及び大学院学生としての期間は含まない。)を有する者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 独立行政法人大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該大学の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号参照。「3. 出願資格審査」参照)
※旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者又は卒業見込みの者など

2-2 下記の各号のいずれかに該当する者で、在職者として2年以上の社会経験(常勤又はそれに準ずるものに限る。大学入学以前の在職者としての経験は含まない。)を有する者。ただし、大学に在籍しながら勤務している場合、大学での授業時間帯と勤務時間が重複しているときは、社会経験として認めない。

- (8) 大学を卒業した者又は平成29年3月までに卒業見込みの者
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で平成7年4月1日以前に出生した者(別記、23頁参照)
※短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生や外国大学日本分校等修了者など大学卒業資格を有していない者が対象

3. 出願資格審査

「2. 出願資格」の(7)により出願する者は、別に定めがあるので、平成28年11月25日(金)までに本研究科に申し出ること。

「2. 出願資格」の(9)により出願する者は、別記(23頁)により必要書類を提出すること。

「大学教育修了までの学校教育の課程が15年である国において大学教育を修了した者」は、出願資格審査が必要となるので、事前に本研究科に申し出て指示を受けること。提出期限(23頁参照)に間に合うよう余裕を持って申し出ること。

4. 出願書類

出願書類等	備 考
☐ 入学願書 ☐ 受験票・写真票 ☐ 住所シール (本要項に綴じ込みの用紙)	入学願書及び受験票・写真票に、応募する専攻名、志望する専修名を記入すること。
☐ 成績証明書	出身大学(学部)等長の発行するもの。
☐ 卒業(見込)証明書又は学位授与証明書	出身大学(学部)等長の発行する卒業(見込)証明書又は独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書(授与見込みの場合は、短期大学長又は高等専門学校長が発行する学位授与申請(予定)証明書)。本学文学部出身者は提出不要。
☐ 入学志望理由書	・A4判を使用し、以下①,②を合わせて2,000字以内で述べたもの。 ①社会活動の経験と本研究科を志望する理由 ②入学後の研究計画及び修士修了後の抱負 ・卒業論文がある場合は、その写しをあわせて提出することができる。
☐ 受験票送付用封筒 (本要項に綴じ込みの封筒)	本研究科所定の封筒に372円分の切手を貼付し、住所、氏名、郵便番号を記載のこと。
☐ 検定料 30,000円 (本要項に綴じ込みの払込書) ※既納の検定料は、以下の場合を除き返還できない。 ①出願しなかった場合 ②誤って二重に払い込んだ場合 【返還方法の問い合わせ先】 大学院文学研究科・文学部 教務担当 (011)706-3005, 3004	①本学所定の払込書の※欄に、志願者本人の住所・氏名(漢字、フリガナ)、電話番号を黒のボールペンで正確に記入して、必ず銀行(ゆうちょ銀行を含む。以下同じ。)の窓口で振り込むこと。 ATM(現金自動預払機)は使用不可。 ②「振込金(兼手数料)受領書」及び「検定料受付証明書」を銀行の窓口から受け取る際には、必ず「受付局日附印」を確認すること。「受付局日附印」が押印されていないと願書は受理できない。 ③「受付局日附印」が押印された「検定料受付証明書」を願書の所定の欄に貼り付けて提出すること。 ④「振込金(兼手数料)受領書」及び「検定料受付証明書」は無くさないよう注意すること。

5. 出願期間及び提出先

(1) 出願期間

平成29年1月5日(木)から1月11日(水)まで
 持参の場合:受付時間は午前9時から午後4時30分まで。
 郵送の場合:上記期間内に必着のこと。

(2) 提出先

北海道大学大学院文学研究科・文学部教務担当(〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目)
 出願書類を郵送する場合には、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きし、書留郵便とすること。

II 入学試験

6. 入学試験期日及び場所

(1) 試験期日 平成29年2月4日(土)

専 門 試 験 午前9時00分から午前11時00分まで
 口述試験その他 (7.選抜方法(2)参照)

(2) 場 所 北海道大学大学院文学研究科(札幌市北区北10条西7丁目) ステーションコンファレンス東京(東京都千代田区丸の内1丁目7-12 サピアタワー)

(試験場については、志願者の希望を参考とした上で、本研究科が指定する。)

7. 選抜方法

(1) 専門試験、口述試験その他の結果並びに出願書類を総合して合格者を決定する。

- ① 専門試験 (配点:150)
- ② 口述試験その他 (配点:150)

(2) 専門試験と口述試験その他の出題形式・選択方法

思想文化学専攻

専 修	専 門 試 験		口述試験その他
	試験科目	出 題 範 囲	
哲学倫理学	哲学・倫理学	哲学, 倫理学 論述形式問題: 哲学, 倫理学から各々2問ずつ, 計4問が出題される。このうちから2問を選択する。 外国語文献読解(英語)	口述試験 13:30～ (筆記試験を含むことがある。)
宗教学インド哲学	宗教学インド哲学	宗教学, インド哲学及び仏教学 論述形式問題: 宗教学, インド哲学, 仏教学から各々1問ずつ, 計3問が出題される。このうちから1問を選択する。 外国語文献読解(英語)	口述試験 13:30～ (筆記試験を含むことがある。)
芸術学	芸術学	芸術理論, 芸術史 論述形式問題: 芸術理論, 芸術史から1問ずつ計2問が出題される。このうちから1問を選択する。 事項説明問題: 12問から6問を選択する。 外国語文献読解(英語)	口述試験 13:30～

歴史地域文化学専攻

専 修	専 門 試 験		口述試験その他
	試験科目	出 題 範 囲	
日本史学	日本史学	日本史学	口述試験 13:30～
東洋史学	東洋史学	東洋史学	口述試験 13:30～
西洋史学	西洋史学	西洋史学	外国語 13:30～14:45 口述試験 15:15～ 外国語は英語, ドイツ語, フランス語のうちから研究に必要な言語を1つ選択する。辞書持込み可(電子辞書は不可)。
歴史文化論	歴史文化学	文化人類学, 思想史, 地域文化研究 →問題は, 問A, 問Bからなる。問Aは, 全分野から選択可能である。問Bは, 入学後に専攻を希望する分野から選択する。	外国語文献読解(英語) 13:30～14:45 口述試験 15:15～
北方文化論	北方文化論	考古学, 文化人類学, 民族言語学, 博物館学 →問題は, 問1, 問2からなる。問1は, 入学後に専攻を希望する分野から選択する。問2は, 全分野から選択可能である。	口述試験 13:30～
スラブ社会文化論	スラブ地域学	スラブ・ユーラシア社会論, スラブ・ユーラシア文化論 論述形式で, 複数の問題から2問を選択する。	外国語 13:30～14:45 口述試験 15:15～ 外国語は英語2題, ロシア語2題のうちから任意の2題を選択し, 日本語訳を行う。辞書持込み可(電子辞書は不可)。

言語文学専攻

専修	専門試験		口述試験その他
	試験科目	出題範囲	
西洋文学	西洋文学	英米・英語圏文学, ドイツ文学, フランス文学, ロシア文学, 西洋古典学 →上の中から志望する分野に応じて1つを選択する。	口述試験 13:30～
言語科学	言語科学	英語学, ドイツ語学・ゲルマン語学, フランス語学・ロマンス語学, ロシア語学, 言語学, 言語情報学, 国語学 →上の中から志望する分野に応じて1つを選択する。	口述試験 13:30～ 2専修合同で実施する。
日本語科学	日本語科学	日本語科学(日本語学や現代日本語の言語学的研究を主とし, 日本語と他言語の対照研究, 言語文化論・翻訳論も含む。)	
日本文化論	日本文化論	国語・国文学	口述試験 13:30～
中国文化論	中国文化論	中国思想(漢文・中国語文・日本漢学を含む。), 中国文学及び中国語学(中国語文献読解等を含む。) →「中国思想」, 「中国文学及び中国語学」のうちから1つを選択する。	小論文 13:30～14:45
			口述試験 15:15～
映像・表現文化論	映像・表現文化論	映像・表象文化, 日本近現代文学・思想 →上の中から, 主に志望する分野に応じて選択する。	口述試験 13:30～

人間システム科学専攻

専修	専門試験		口述試験その他
	試験科目	出題範囲	
心理システム科学	心理学	心理学	英語文献読解等 13:30～14:45 口述試験 15:15～
行動システム科学	行動科学	社会心理学 行動計量学	英語文献読解等 13:30～14:45 口述試験 15:15～
社会システム科学	社会学	社会学	口述試験 13:30～
地域システム科学	地域科学	人文地理学 社会生態学 地域社会学 →「人文地理学」, 「社会生態学」, 「地域社会学」の問題のうちから, 一定数を選択する。	口述試験 13:30～

8. 合格者発表

平成29年2月20日(月) 午後4時

文学研究科掲示板に掲示するとともに, 受験者宛, 合否を郵送により通知する。電話による問い合わせには一切応じない。

なお, 通知の到着は, 4～5日後になることがある。

9. 教育方法の特例(大学院設置基準第14条による特例)について

本研究科では, 通常, 平日の1講時～5講時(8:45～18:00)に授業を行うことになっているが, 有職者である学生に限り, その所属先における勤務条件, 通学に要する時間等について, 教員が考慮した上で, 通常の授業時間帯以外の特定の時間又は時期に授業を設けることが許されている。この特例による授業の実施を希望する者は, 合格発表後, 指導を希望する教員に申し出るとともに, 今後の研究・学習計画等について指導を受けること。

一般入試, 外国人留学生特別入試, 社会人特別入試共通

・各専修における専門分野

■思想文化学専攻

専 門 分 野	専 修
哲学・哲学史 倫理学・応用倫理学 論理学 社会思想史	哲学倫理学
宗教学 インド哲学 仏教学	宗教学インド哲学
美学 芸術学 視覚文化論 日本美術史 西洋美術史	芸術学

■歴史地域文化学専攻

専 門 分 野	専 修
日本史学	日本史学
東洋史学 西南アジア史学	東洋史学
西洋史学	西洋史学
地域文化研究(アメリカ・中東・東アジア)	歴史文化論
文化人類学	北方文化論
考古学 民族言語学 博物館学	
ロシアの社会と文化 中央ユーラシアの社会と文化 東欧の社会と文化	

■言語文学専攻

専 門 分 野	専 修
英米・英語圏文学 ドイツ文学 フランス文学 ロシア文学 西洋古典文学	西洋文学
英語学 ドイツ語学・ゲルマン語学 フランス語学・ロマンス語学 ロシア語学 言語学 言語情報学 国語学	言語科学
日本語科学(日本語学・現代日本語を対象とする一般言語学・社会言語学, 対照言語学, 応用言語学, 言語文化論, 翻訳論等)	日本語科学
日本古典文学 日本古典文化	日本文化論
中国思想 中国語学 中国文学	中国文化論
映像・表象文化 日本近現代文学・思想	映像・表現文化論

■人間システム科学専攻

専 門 分 野	専 修
心理学 認知科学	心理システム科学
社会心理学,及びその関連分野(文化心理学,環境心理学,進化心理学,行動経済学など)	行動システム科学
社会学	社会システム科学
社会生態学 人文地理学	地域システム科学

・出願上の注意

- (1) 出願書類及びその記載内容に虚偽のあることが判明した場合は、合格(入学後にあっては入学)を取り消す。
- (2) 入学願書の履歴事項欄には、高等学校卒業以降の履歴を全て記入すること。外国人留学生は、初等教育(小学校)から最終学歴まで全ての入学、卒業に関する情報を記入すること。履歴中に虚偽のあることが判明した場合は、合格(入学後にあっては入学)を取り消す。

・出願書類の請求

募集要項(出願書類)は、本研究科ホームページから請求すること。

北海道大学大学院文学研究科 <http://www.let.hokudai.ac.jp/>

・過去の試験問題

本研究科ホームページで公開している。

なお、翌年度4月に合否判定基準及び入学試験の出題意図、並びに志願者数、受験者数、合格者数及び入学人数等の情報を公開する。

北海道大学大学院文学研究科 <http://www.let.hokudai.ac.jp/>

・入学手続

- (1) 入学手続期間 3月中旬(入学手続の詳細は、2月下旬に通知する。)
- (2) 入学料 282,000円
- (3) 授業料 前期分267,900円(年額535,800円)
(注1) 上記の納付金は予定額であり、今後改定される場合がある。
(注2) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

・長期履修制度について

この制度は、主として時間的制約の多い社会人の修学に配慮したもので、標準の修業年限より長い期間をかけて計画的な履修を行うためのものである。

これに申請できるのは、官公庁・企業等に在職している者(給与の支給を受け、職務を免除されている者を除く)、自ら事業を行っている者等フルタイムの有職者、育児及び親族の介護等にたずさわっている者、又はそれらに準じる仕事や負担によって修学に重大な影響がある者に限定される。

希望者は平成29年1月16日(月)から1月20日(金)までに申請を行い、本研究科における審査を経て、3月下旬に適用が決定される。入学時に長期履修が認められた者の授業料は、概ね標準修業年限に納付すべき授業料の額(年額×2年)を長期履修が認められた年数で除した額を年額として決定する。申請者は、長期履修を希望する理由が確認できる書類等を添付する必要がある。申請方法、制度内容、授業料等についての詳細は、大学院文学研究科・文学部教務担当に問い合わせること。

・個人情報の取り扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期している。
- (2) 出願書類に記載されている氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜、②合格者発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、及び⑤これらに付随する業務を行うために利用する。
- (3) 合格者のみ、(2)の個人情報を入学後の①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、奨学金申請等)、③授業料等に関する業務を行うために利用する。
- (4) (3)の個人情報のうち、氏名及び住所に限って、北大フロンティア基金及び本学関連団体である北海道大学体育会からの連絡を行うために利用する場合がある。

・入学試験に関する問い合わせ先

北海道大学大学院文学研究科・文学部教務担当

TEL (011) 706-3005, 3004(月～金:8:30～17:00/祝日を除く。)

※問い合わせは、やむを得ない場合を除き志願者本人が行うこと。

・**入学試験成績等の開示について**

本研究科では、本人からの請求に基づき、合格発表後の一定期間、受験者からの求めに応じ試験成績等について開示する。

開示内容・方法等については、受験票及び受験上の注意事項等送付時に通知する。

別記【出願資格審査】

1. 一般入試, 外国人留学生特別入試

「2. 出願資格」の(8)…いわゆる飛び入学…により出願しようとする場合。

(1) 提出書類

- ① 受験資格審査願(本研究科所定の用紙, 申し出により交付する。)
- ② 履歴書
- ③ 成績証明書
※転学している場合は, 転学前の成績証明書も併せて提出する。
- ④ 出身大学の学部長及び指導教員の推薦書。本学文学部学生は, 指導教員の推薦書
※中途退学者も出身大学から推薦書を発行してもらうこと。
- ⑤ 主要研究論文
※卒業論文等を作成していない場合でも, 新規に作成し提出すること。
- ⑥ 返信用封筒(出願資格通知用)
※封筒(長形3号)に申請者の郵便番号・住所・氏名を明記し, 362円分の切手を貼付したもの。

(2) 提出期限

平成28年11月25日(金)

(3) 審査基準

下記のア, イの両方の条件を満たす者に, 出願資格を与える。

ア 授業科目の成績

在籍大学の成績評価(転学をしている者は転学前の成績を含む。)を下記の式により計算し, その値が2.90を超える者

$$\text{評価の平均値} = \frac{\text{優(A)の単位数} \times 3 + \text{良(B)の単位数} \times 2 + \text{可(C)の単位数} \times 1}{\text{総修得単位数}}$$

注1 2年次修了時点で82単位以上修得していることを条件とする。

注2 評価が「認定」となっているものは, 修得単位として計上しない。

イ 主要研究論文の評価

志望する専修を担当する本研究科専任教員が, 本学文学部4年次学生が提出する卒業論文に準じて評価し, 「優」の評価に相当するもの。

2. 一般入試, 外国人留学生特別入試, 社会人特別入試

「2. 出願資格」の(9)…大学卒業資格を有していない者に対する個別の資格審査…により出願しようとする場合。

(1) 提出書類

- ① 受験資格審査願(本研究科所定の用紙, 申し出により交付する。)
- ② 履歴書
- ③ 最終学校の卒業証明書, 成績証明書
- ④ 最終学校卒業後の学習歴, 実務経験等について, A4判を用い2,000字以内で述べたもの。
- ⑤ 最終学校卒業後の学習歴, 実務経験等を証明できるもの。
(例: 教育機関の在学証明書, 成績証明書。研究機関の在職証明書又はこれに代わるもの。出版物, 講演会発表要旨等)
- ⑥ 返信用封筒(出願資格通知用)
※封筒(長形3号)に申請者の郵便番号・住所・氏名を明記し, 362円分の切手を貼付したもの。

(2) 提出期限

【前期試験】平成28年6月24日(金)まで

【後期試験】平成28年11月25日(金)まで

(3) 審査基準

次のア, イの両方の条件を満たす者に, 出願資格を与える。

ア 客観的に証明できる学習歴, 実務経験等を有し, それらの年数と本人の受けた学校教育の年数を合算し, 16年以上となること。

イ 学習歴, 実務経験等において, 志願する専修の学習・研究内容と関連のある実績があること。

北海道大学大学院文学研究科

〒060-0810 札幌市北区北 10 条西 7 丁目

011-706-3005, 3004 (教務担当)

<http://www.let.hokudai.ac.jp/>